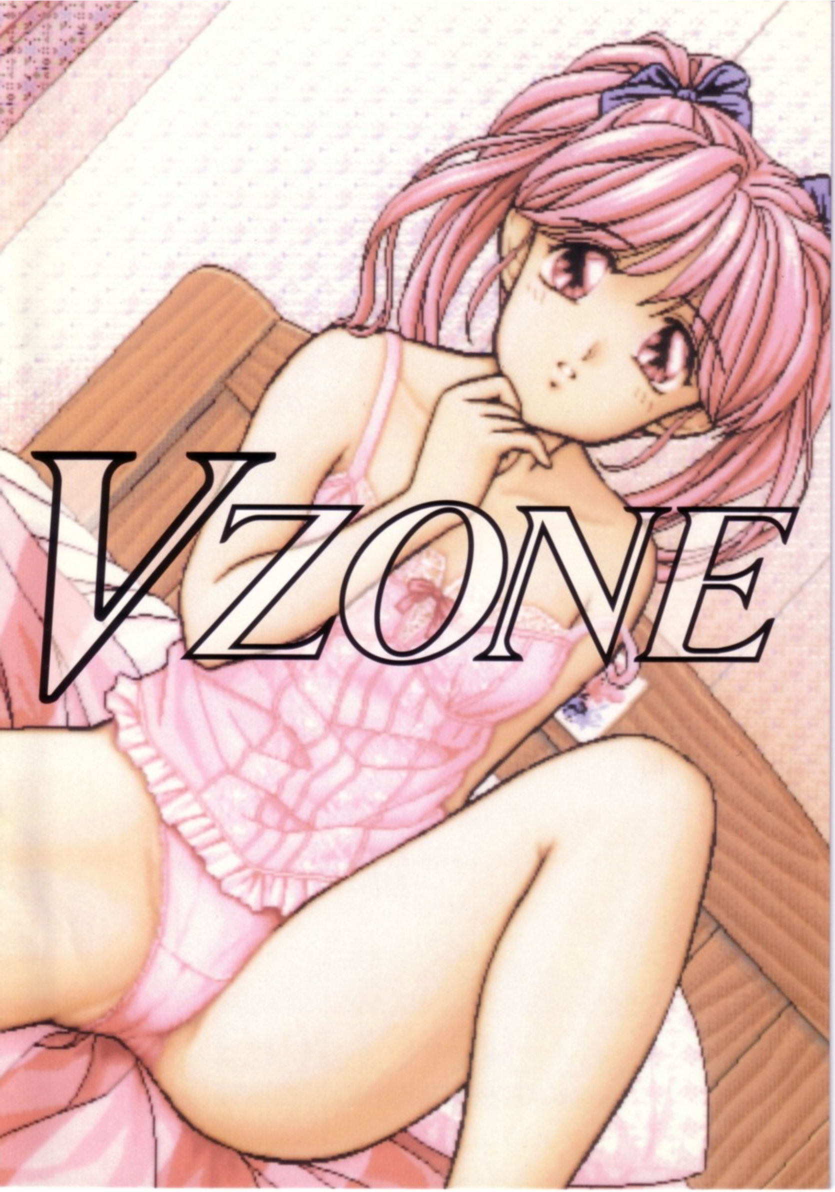

V ZONE

初めてゲームを起動する前には、必ずこのマニュアルをお読みください。内容を理解したうえで操作してください。

VZONE
マニュアル



このゲームは、データのアクセスを頻繁におこないます。ハードディスクをお持ちの方には、ハードディスクでのプレーをお勧めします。

ハードディスクでのプレー

ハードディスクへのインストールと起動のしかた

●ハードディスクに適当な名前のサブディレクトリを作ります。
●その作ったディレクトリの中に、ゲームの全てのフロッピーの中の全てのファイルをコピーします。
●起動するには、そのディレクトリで、VZONE.EXEを実行します。

補足説明

ルートディレクトリにVZXというサブディレクトリをつくり、その中にゲームを入れるということを想定して説明します。また、ハードディスク名はA：、フロッピードライブ名がB：と仮定しています。

●電源を入れ、ハードティスクからMS-DOSを起動します。
●DOS-SHELLとかWindowsとかワープロなどが起動してしまったら、終了してラインモードにします。
●以下のように一連の操作をします。
（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>cd ¥

カレントディレクトリ（自分の居場所）をルートに（一番上に移動）します。

A>md vzx

VZXというサブディレクトリ（ファイルの入れ物）を作ります。

A>cd vzx

カレントディレクトリ（自分の居場所）をVZXに（移動）します。

この時、ドライブ1にゲームのディスクAを入れます。

A>copy b:.

フロッピードライブにセットされているディスクのファイルを、
VZX（つまり今いる場所）にコピーします。
コピーが終わったら次のディスクに取り替え、同じように入力します。
それをゲームの全てのディスクについて行います。

A>vzone

VZONEを起動します。

次回からの起動方法

●電源を入れ、ハードティスクからMS-DOSを起動します。
●DOS-SHELLとかWindowsとかワープロなどが起動してしまったら、
終了してラインモードにします。
●以下のように一連の操作をします。
（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>cd ¥vzx

カレントディレクトリ（自分の居場所）をルート（一番上）のすぐ下のVZXに（移動）します。

A>vzone

VZONEを起動します。

VZONEを起動しようとして、メモリーが足りないというメッセージが表示されて、起動できないときは起動用ディスクを作成してください。

●システムフォーマットを施したフロッピーからMS-DOSを起動します。
●ゲームが入っているハードディスクに移ります。
●ゲームが入っているサブディレクトリに移ります。
●そのディレクトリで、VZONE.EXEを実行します。

補足説明

フロッピードライブ2台、（分割されていない）ハードディスク1台の機器構成として説明します。

起動用ディスクの作り方

●電源を入れ、ハードティスクからMS-DOSを起動します。
●DOS-SHELLとかWindowsとかワープロなどが起動してしまったら、
終了してラインモードにします。
●使っていないフロッピーディスクをドライブ1に入れます。
●以下のように一連の操作をします。
（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>format b: /s

フロッピーディスクをシステムフォーマットします。

●以下、この操作でできあがったディスクを「起動用ディスク」と呼びます。

起動用ディスクを使って、ハードディスク内のゲームを起動する

●起動用ディスクをドライブ1に入れます。
●電源を入れ、起動用ディスクからMS-DOSを起動します。
●日付や時間の入力になったらリターンを押します。
●コマンド入力待ちになったら、以下の一連の操作をします。
（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>c:

カレントドライブ（自分の居場所）をC：（ハードディスク）にします。

C>cd ¥vzx

カレントディレクトリ（自分の居場所）をルート（一番上）の
すぐ下のVZXに（移動）します。

C>vzone

VZONEを起動します。

MS-DOSにおけるハードディスク（HD）やフロッピーディスク（FD）の名前について

MS-DOSでは、ＨＤやＦＤに、（Ａ：とかＢ：とかの）名前がつけられます。
９８の場合は、ＨＤで起動した場合は、ＨＤから、ＦＤで起動した場合は、ＦＤから順にＡ：、Ｂ：、Ｃ：、．．．とつけられます。

ＦＤ２台と、（分割されていない）ＨＤ１台の場合、ＦＤで起動すると、

ＦＤ１　が　Ａ：
ＦＤ２　が　Ｂ：
ＨＤ　　が　Ｃ：

となります。

また、同様の機器構成で、ＨＤで起動すると、

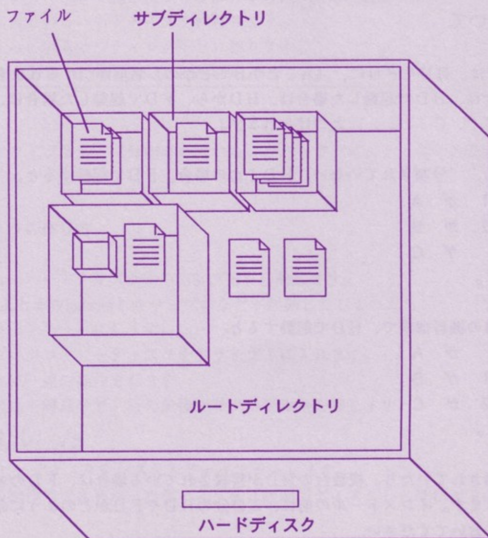
ＨＤ　　が　Ａ：
ＦＤ１　が　Ｂ：
ＦＤ２　が　Ｃ：

となります。

ＨＤが分割されていたり、複数台のＨＤが接続されている場合は、ＦＤの名前は後ろにずれていきます。インストールの前に、ご自分のＨＤやＦＤがどのように命名されるかを把握しておいてください。

サブディレクトリとは

ハードディスクなどの記憶装置は、大きな引出しに例えることができます。この引出しは非常に大きいので、いろいろなものをたくさん入れることができます。かたっぱしから入れていくと、ごちゃごちゃして使いずらくなってゆきます。そこで、小さな箱を引出しの中に入れ、箱のまわりにある雑多なものの中から、同じ種類のものだけを集めて拾い出し、箱の中に入れます。こうするとだいぶ片付いて来ますね。小箱をいくつか用意すると、見違えるように使いやすくなります。MS-DOSでは、この小箱をサブディレクトリと呼んでいます。小箱の中にも、さらに小さな小箱を入れて、より細かく分類することが可能（8段階まで）です。小箱は、操作によって随時作ったり消したりできます。小箱に対して、引出し自体の内側をルートディレクトリと呼びます。また、引出し自体はハードディスクやフロッピーそのもので、Ａ：とかＢ：とかの名前で分類されます。カレントディレクトリとは、現在操作の対象となっている小箱（や引出し内側）のことです。カレントディレクトリは随時移動することができます。引出し間の移動も可能で、現在操作の対象となっている引出しをカレントドライブといいます。別の引出しに移動しても、元居た引出しのカレントディレクトリは記憶されているので、元の引出しに帰った時は、元居た小箱に戻ります。



フロッピーディスクでのプレー

このゲームのフロッピーディスクにはMS-DOSシステムが組み込まれていません。このゲームのフロッピーディスク自体で起動するためにはMS-DOSシステムを組み込む必要があります。

MS-DOSシステムの組み込み

- 用心のため、Aディスクのバックアップをとっておいてください。
- SYSコマンドを使ってAディスクにシステムを組み込んでください。
- ドライブ1にAディスクを、ドライブ2にBディスクを入れ、電源オンで起動するようになります。

補足説明

ディスクのバックアップのしかたは、MS-DOSのマニュアルを参照してください。Aディスクにはデータを書き込みますので、ライトプロテクトをかけないでください。

SYSコマンドによるAディスクへのシステム組み込み

- ドライブ1にMS-DOSのシステムディスクを入れます。
- ドライブ2にAディスクを入れます。
- 電源を入れます。
- DOS-SHELLとかワープロなどが起動してしまったら、終了してラインモードにします。
- 以下のように入力します。
  （入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>sys b:

システム組み込み後の起動のしかた

- ドライブ1にAディスク、ドライブ2にBディスクを入れます。
- 電源を入れると自動的にゲームが起動します。

Aディスクに MS-DOS を組み込まずに起動する方法

●システムフォーマットを施したフロッピーからMS-DOSを起動します。
●ドライブ1にAディスク、ドライブ2にBディスクを入れます。
●VZONE.EXEを実行します。

補足説明
フロッピードライブ2台、（分割されていない）ハードディスク1台の機器構成として説明します。

起動用ディスクの作り方
使っていないフロッピーディスクにはデータを書き込みますので、ライトプロテクトをかけないでください。

●ドライブ1にMS-DOSのシステムディスクを入れます。
●ドライブ2に使っていないフロッピーディスクを入れます。
●電源を入れます。
●DOS-SHELLとかワープロなどが起動してしまったら、
　終了してラインモードにします。
●以下のように一連の操作をします。
　（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>format b: /s

　　フロッピーディスクをシステムフォーマットします。
●以下、この操作でできあがったディスクを「起動用ディスク」と呼びます。

起動用ディスクを使って、ゲームのフロッピーを起動する
Aディスクにはデータを書き込みますので、ライトプロテクトをかけないでください。

●ドライブ1に起動用ディスクを入れ、電源を入れます。
●日付や時間の入力になったらリターンを押します。
●コマンド入力になったら、起動用ディスクを抜きます。
●ドライブ1にAディスクを、ドライブ2にBディスクを入れます。
●以下のように入力します。
（入力するのは下線部分で、行の最後でリターンキーを押します）

A>vzone

　　VZONEを起動します。

タイトル画面

ゲームが始まると、まずタイトル画面になります。タイトル画面の上部には、3つのボタンがあり、マウスでクリックすることでそれぞれを実行します。

はじめからスタート：　冒険が始まる前までのゆきさつが絵と文章で表示され、ゲームが初期状態から始まります。

前回の続きから：　前回終わったところから続いて冒険を始めます。通常、2回目以降はこれを選択します。

用語の設定：　あなたの名前やHな用語を設定できます。

タイトル画面からゲームを終了することはできません。ゲームを終了したい場合は、一度前回の続きからを選択し、冒険画面からENDを選択してください。

用語の設定画面

ここでは、ゲーム内で表示される、プレーヤーの名字や名前、さまざまなHな用語を自由に設定することができます。ここで設定された用語はゲーム内のあらゆる局面で表示されます。初期設定では、主人公の名字は「くぼた」、名前は「ようすけ」に設定されています。名字を「のぐち」に変えることを例に説明します。

●マウスで「あなたの名字」の場所をクリックします。
●「くぼた」という表示が消えて赤い枠と文字カーソルの四角が表示されます。
●マウスカーソルで「の」、「く」、「゛」、「ち」とクリックします。
●最後に「設定」をクリックすると赤枠が消えて「のぐち」が確定します。
●途中でまちがえたときは、「←」かマウスの右ボタンをクリックします。

同様に他の用語も設定し、最後にEXITボタン（ドアから人間が走りだしているアイコン）を押してタイトル画面に戻ってください。EXITボタンを押すことにより、ディスクに書き込まれますので、EXITボタンを押す前に電源を切ったり、リセットボタンを押したりすると、設定したデータは無効となってしまいます。

テキストエディタを使える方でしたら、用語のファイル「WORDS．CFG」を直接書き換えることによっても設定を変えることができます。その場合には、16行に収め、最後の行の後ろにも改行を入れ、各行は全角6文字以内で設定してください。

冒険画面

CGエリア

冒険画面では、左上がCGエリアで、あなたが今いる場所の絵が表示されます。また、その場所にあなた以外の人物がいるときには、その人物も表示されます。CGエリアに表示されているいろいろな物をクリックすることで、その物に関する情報が得られます。また、人物が表示されている場合には、その人物の口をクリックすることで会話します。

コマンドエリア

冒険画面の右上です。ここには操作のためのボタンが並んでいます。

方向ボタン：　東西南北の各ボタンをクリックすることで、
その方向に移動します。

EXITボタン：　ドアから人間が走りだしているアイコン。
建物内部から外に出るときにクリックします。

持物ボタン：　「持」と書かれた袋のアイコン。
現在持っている、冒険に必要な特別な持物を表示します。

SAVEボタン：　現時点での状況をセーブするとき、
またはセーブされた状況を呼び出すときにクリックします。
セーブは5か所までできます。

ENDボタン：　ゲームを終了するときにクリックします。

テキストエリア

冒険画面の下部はテキストエリアになっています。文字による情報は、すべてここに表示されます。

SEX画面

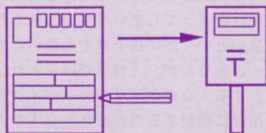
首尾よくコトがはこぶと、美少女とのSEX画面になります。ディスプレイいっぱいに表示された女の子の体にいろいろなことをするためのアイコンが右上に並んでいます。アイコンを取り替えながら、いろんな場所をクリックしてみてください。クリックする場所とアイコンの組み合わせが正しければ、リアクションの状況が文章で表示されます。画面右上のアイコンの下には、あなたと女の子の性感が棒グラフによって表示されています。あなたはアイコンを駆使して、女の子や自分をイカせなければなりません。何もせずにほうっておくと、非常にゆっくりではありますが、グラフが下がってゆきます。的を得た行動をとれば、グラフはぐんぐんと上昇します。女の子が十分に興奮する前に過激な行為をしようとしても女の子は感じません。また、十分に興奮している状況では、軽い愛撫では効きめがありません。グラフを見ながらうまく性感を高めていってください。バランスを考えながらしないと、どちらか一方だけがイッてしまいます。まあそれでも良いという方にはそれでも良いのですが…。あなたが、「自分だけイケれば満足」する人なのか、「女の子がイクさまを冷静に観察するのが好き」な人なのかにもよります。1人の女の子とのSEXは、1回だけです。SEX前にはセーブしておくことをお勧めします。



ユーザーサポート

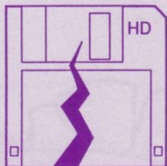
●ユーザー登録

まずはじめに、同梱されているユーザー登録はがきに、必要事項を記入してご投函下さい。ユーザー登録がされていない場合には、サポートをいたしません。



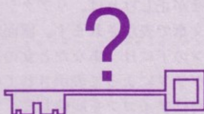
●ディスク破損

開封直後、すでにディスクが破損していた場合には、無料で交換いたします。製品の初期不良以外の理由で破損した場合には有料（1500円）で交換いたします。いずれの場合も、動作環境と破損の詳しい状況を書いたメモ、破損したディスク、有料の場合は、1500円分の無記名郵便小為替を当社にお送りください。



●内容（謎解きなど）のご質問

電話によるご質問にはお答えしません。切手を貼り、ご自分への宛先を書いた返信用封筒を同封のうえ当社にお送りください。ご購入後最低2週間以内は、お答えを返送しません。



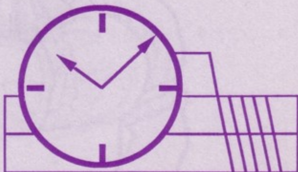
●MS-DOS操作のご質問

一切お答えしません。MS-DOSのマニュアルや書籍などをご参照ください。



●サポート期限

1997年3月31日までとさせていただきます。





〒360-01 埼玉県大里郡江南町中央1-3-10

